



院内感染対策ニュース

第63号 平成30年11月21日
院内感染対策委員会

首都圏で風疹が流行！風疹ってどんな病気？

陽が暮れるのがすっかり早くなりました。北海道の秋はあつという間に過ぎ季節はもう冬ですね。東京近郊の首都圏では今年に入り風疹が流行しています。子供の頃、風疹に罹ったという方も多いと思いますが風疹は妊婦さんが罹ると子供に障害が出る危険があるため、予防が大切です。そこで、今回は風疹について取り上げます。

風疹ってどんな病気？

風疹は風疹ウイルスによる感染症です。
潜伏期間は14～21日。
症状は顔から体全体に赤い発疹が広がります。
首や耳の後ろのリンパ節が腫れます。
ウイルスは発疹出現前後1週間排泄されます。
治療は対症療法。



感染症法による届出は？

風疹は感染症法により診断した医師は【直ちに保健所へ届け出】なくてはなりません。
感染症法では5類に分類され、全数報告となっていますので、診断した場合は直ちに保健所への報告書を提出をお願いします。

風疹発症から治癒までの経過

	潜伏期	前駆期	発疹期	回復期
40℃			熱型	
37℃		リンパ節腫脹期	発疹	
日数	14～21日	1～2日	3日	数週間
		・発疹は無いが軽微、風邪に似た症状がある。 ・リンパ節腫脹が出る	・発熱（37～38℃）と同時に顔から発疹が出現し全身に広がる。 ・伝染力が最も強い時期	発疹が消退したら登校・出勤できる。 ・リンパ節腫脹は数週間持続

風疹の感染経路と予防方法は？

飛沫・接触で感染します。飛沫感染対策としてマスクの着用・手洗いはまたは手指消毒が有効です。また、風疹ワクチンまたはMRワクチン（麻疹・風疹ワクチン）が効果的です。一度罹患した人やワクチン接種した人は長期的に免疫を獲得できるといわれています。ただし、どちらのワクチンも生ワクチンのため妊娠中の方は接種できません。

妊婦さんが風疹に罹ると・・・

妊娠初期に風疹に罹患すると出生児に障害が引き起こされることがあります。それを「先天性風疹症候群：CRS」と云います。主な症状：先天性心疾患、難聴、白内障。他にも血小板減少や糖尿病などの障害が引き起こされることがあります。

こんな人いませんか？
どれも効果ありません！



顔マスク



鼻出てるマスク



一度使ったマスクを腕につけて再利用

今年風疹が流行したのは・・・

東京・埼玉・千葉・神奈川の報告が多く、20～50代に偏りが見られます。さらに男性の発生が多いです。これは、ワクチンによる予防接種制度の影響と考えられています。39歳5ヶ月以上の男性と56歳5ヶ月以上の女性はワクチン接種の機会がありませんでした。今年、最も報告数の多い年代は40～45歳の男性です。同居の家族が風疹に罹患し妊娠中の女性に感染する危険もあります。男性だから大丈夫ではありません。家族全員で風疹予防のためのワクチン接種にご協力下さい。



ワクチンで守れる
小さな命
ワクチン接種にご協力下さい。
次回もお楽しみに！

